

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2012年08月 | トップ | 2012年10月 》

検索

2012年09月21日(金)

 検索

原発がこわい女たちの会ニュース82号発行 <その2>

続いて、会ニュースの2つの記事(風力発電の被害、この夏の節電)を載せません。
最初の記事は、原発代替エネルギーとして有力視される風力発電も、立地周辺住民に多大な悪影響を与えるというこわい話です。

■ 風力発電の被害

巨大風車9基回転し始めると由良町と日高町の両町民に被害の恐れ(一基2000⁺ワット)
—大平山・池田に風力発電所群9基の建設計画—
(大平山・池田の風力発電を考える会のチラシから)



写真は由良風力発電所の風車

2010年10月17日夕見文隆氏に「低周波音公害を考える—風力発電被害を中心として—」という話を頂いた時、海南市の下津町大窪地区にお住まいであった南出美代子さんにも来て頂いて風車の被害についてお聞きしました。(報告として会ニュース、2011年1月18日発行に載っています)その後3・11があり、自然エネルギー・風力発電の関係業者の動きが、活発化しているようです。私も原発の方が忙しくて詳しく知りませんでした。風力発電は1基1億円と言われていたのが耐震設計導入で3億円~4億円は掛かるようになったのは聞いていましたが。

現在稼働して風車の被害を受けている由良町畑地区の人たちは「エコでクリーンな風力発電ということで建設に同意したものの、目の前の山の上で風車が回り出して風車から出る大きな音に驚き、また音として聞こえない低周波の被害に体調を崩しながらも周りからの理解も得られず悩み苦しんでいる」という状況にあると訴えています。

現在、由良町・広川町間の尾根(標高約300~370メートル)において広川明神山風力発電所16基(1基1000kw)平成20年11月に稼働し、さらに昨年平成23年9月には由良風力発電所5基(1基2000kw)が稼働し始めました。

この林立する21基の風力発電所群が民家に近いのです。特に昨年稼働した5基の風車から650⁺のところに住む人に少しお話しをお聞きしました。夜は9時ごろになると上からの圧迫感で眠れないそうです。最初、耳鳴りや、頭痛で眠れないと、町に話に行ったら「あんただけや」と言われたそうです。それですごく悩んだそうですが、それもウソだったのが分かってきます。町政はどちらを向いているのでしょうか。この由良の話が隣の日高町に伝わって、日高町での計画は区で次々と反対されています。しかし由良町は、まだ大平山・池田に9基の計画や、洋上風力の話もあるようです。白崎海岸へ行かれた方も多いと思いますが、三井造船や海上自衛隊基地もある町です。由良風力開発(大阪ガス系列)が、日本気象協会に「騒音・低周波音の事後調査」という名目で、民家に近い9か所で調査をさせて「直接的に健康影響を及ぼす可能性は極めて低い」という報告書を出させていますが、これは何の根拠もありません。国は風力発電の低周波音と健康問題にかかわる指標をまだ示しておらず、予防措

アーカイブ

- 2016年11月(2)
- 2016年10月(1)
- 2016年09月(1)
- 2016年08月(2)
- 2016年07月(4)
- 2016年06月(2)
- 2016年05月(1)
- 2016年04月(3)
- 2016年03月(2)
- 2016年02月(3)
- 2016年01月(2)
- 2015年12月(4)
- 2015年11月(2)
- 2015年10月(1)
- 2015年09月(3)
- 2015年08月(3)
- 2015年07月(2)
- 2015年06月(2)
- 2015年05月(2)
- 2015年04月(2)
- 2015年03月(2)
- 2015年02月(2)
- 2015年01月(5)
- 2014年12月(3)
- 2014年11月(2)
- 2014年10月(2)
- 2014年09月(2)
- 2014年08月(1)
- 2014年07月(2)
- 2014年06月(1)
- 2014年05月(3)
- 2014年04月(4)
- 2014年03月(3)
- 2014年02月(1)
- 2014年01月(3)
- 2013年12月(4)
- 2013年11月(1)
- 2013年10月(3)
- 2013年09月(5)
- 2013年08月(1)
- 2013年07月(3)
- 2013年06月(5)
- 2013年05月(3)
- 2013年04月(2)
- 2013年03月(6)
- 2013年02月(2)
- 2013年01月(3)
- 2012年12月(2)
- 2012年11月(1)
- 2012年10月(2)

置として風車と住居との距離を検討しているということです。

由良風力2000^{*}の風車は、全長100メートル、直径80^ルの羽根が新幹線並みの速さで回転しているそうです。すぐ近くまで行って見学してきました。いやな音が複数、耳に届き、長くは居たくない場所でした。(松浦雅代)

■ この夏の節電

9月7日に政府による節電要請期間が終了した。関西電力は7日、今夏の節電効果が、猛暑だった2010年比で約11% (約300万キロワット)に上ったと発表した。節電目標(10%)を上回り、約5%だった昨夏の2倍以上に拡大したとのこと。

ところで、6月末、関電から各家庭に「計画停電」の区割を示した葉書が届いたはずである。

おもてには

関西電力「万が一の備えとしての計画停電のお知らせ」

と題して以下のように記されている。

弊社はこれまで、供給力確保に全力を尽くしてまいりましたが、今夏は大変厳しい需給状況となる見込みであることから、節電のお願いをさせていただきます。計画停電につきましては、原則、実施いたしません。万が一の備えとして準備しており、事前に確認いただきたい事項をお知らせします。大変なご心配とご迷惑をおかけいたしまして、誠に申し訳ございません。お客様におかれましては、万が一の計画停電に備えていただくとともに、節電にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

関電から葉書きたけど、どうしたらいいか？ロウソクでも買っておうか、と思った人もいただろう。だがまてよ、葉書をよくみると、「万が一」という言葉がやたらと多用されている(数えてみると全体で9回)。万が一ということは、近いうち南海トラフ巨大地震が起きる確率よりずっと低いのだ、などと思ってみたりする。電力需給の逼迫を喧伝して原発再稼働の地歩を固めるつもりかいな、とも。

昨年、福島原発事故の直後、東京電力は計画停電を断行した。関東一円、準備が整わず事業所などたいへんな苦労だったらしいが、東京23区には計画は実施されなかった。都心では影響するところが大きすぎるとの配慮だろうが、少なくとも個人の家庭では「停電になっても、それくらいの協力はしたのに…福島の人にも申し訳ない」という思いを抱いた23区住民はたくさんいたと聞いた。

今夏関西では、(当然ながら)計画停電なるものは免れた。「国民生活を守るため」として野田首相が容認した大飯原発3、4号機が再稼働されなくても、電力需要に余力があったことも明らかになった。

<http://asumaken.blog41.fc2.com/blog-entry-6750.html>

住民は振り回されたというべきか。しかしあの胡散臭い葉書も、少なくとも節電の浸透には役立ったことであろう。

できる範囲での節電くらいお安い御用だ。この経験から私たちは、電気の貴重さとそれを無駄にしないよう日常生活で意識するようになった。もともと意識的だった人はさらに、意識するようになった。もちろん、脱原発の実現には、個々人の節電行動ではおさまらない、電気料金値上げ、代替エネルギー源の開発、使用済み核燃料の処理、…などなど当面する課題が山積している。しかし、一歩をはじめなければ、なにもはじまらない。節電はその一歩となりうる。東京新聞の社説がいうように、「(政府は)国民の過半が原発ゼロを望む重い覚悟を受け止めるべきだ。政府が方針を決めれば、民間や国民は知恵を絞り、工夫を重ねよう。それが日本の国民性である。」(2012年9月4日 原発ゼロ社会 電気代高騰は本当か)ではなからうか。

私たち一人ひとりがしっかりと、目を見開いて、考え、出来ることを行動していきたいと思う。(sora)

2012-09-21 | 記事へ | コメント(0)

2012年09月20日(木)

原発がこわい女たちの会ニュース82号発行 <その1>

東京電力福島第一原発事故から1年半がたちました。この間、事故の収束もままならぬまま、大飯原発の再稼働。「安全神話の崩壊」とともに「安い原発神話の崩壊」も知らしめられました。なのにいまだに「国民の生活を守るために原発は必要」とおっしゃる人がいます。そして政局の動きとも絡んで脱原発をめぐる評価が揺れ動き、目が離せません。

9月18日付けで会ニュース82号発行にこぎつけました。これは会員のみなさんに紙ベースで配付するもので、会ニュースの内容は以下の通りです。

1. 講演会のお知らせ
2. <報告>7月16日さようなら原発10万人集会に参加してきました
3. 巨大風車9基回転し始めると由良町と日高町の両町民に被害の恐れ

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民守 正義(08/21)
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
コメントありがとう by sora(12/05)
突然すみません。東京 by 里美(11/22)
10/26と11/29のチケッ by 角谷(10/23)
starさんコメントあり by sora(09/14)
このブログを読むまで by star(09/13)
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
現在稼働している大飯 by star(04/09)
廃炉産業を起こしてほ by kaziwarayosiyuki(03/14)

カレンダー

<		2012年09月							>	
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
						1				
2	3	4	5	6	7	8				
9	10	11	12	13	14	15				
16	17	18	19	20	21	22				
23	24	25	26	27	28	29				
30										

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13琵琶湖集会(11/15)
- 汐見文隆先生、ありがとうございます(11/08)
- 原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
- 高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
- 老朽原発・美浜3号機は廃炉に！ パブコメを出そう(08/28)
- ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
- 熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
- 老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
- 原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

- 4. 福島原発訴訟団の募集
- 5. この夏の節電
- 6. 2030年代に原発稼働ゼロ決定
- 7. 大飯原発3.4号運転差し止め仮処分裁判経過
- 8. 橋柳子さんとの出会い・後記

原発がこわい女たちの会
 ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
 RSS

ID:

PASS:

サイト管理者 ▼

[ログイン](#)

SSLモードでログイン

BLOGariは2017年1月末
 サービス終了します

会員の一部の方には重複してしまいますが、本ブログでも2回に分けて取り上げたいと思います。今日は<その1>です

■ 講演会のお知らせ

福島県の浪江町から同県本宮市へ避難し、仮設住宅で避難生活をしておられる橋柳子さんを和歌山へお招きして、被災の状況についてお話しをお聞きします。みなさまのご参加お待ちしております。

- 日時・10月28日(日)13:00~16:00
- 場所・あいあいセンタ4階—6・7会議室
- 参加協力費・500円

……橋柳子(たちばなりゆうこ)さん プロフィール……

1939年旧満州大連生まれ。
 1945年ハルピンで終戦を迎え、帰国。
 大学卒業後、福島県で教師(英語)
 1980年代に県教職組合中央執行委員として専従活動。その後現場に復帰して、
 2000年に富岡町にて定年退職。
 「退職女性教職員あけぼの会」双葉支部会長。
 震災時は浪江町在住。転々と避難して現在10か所目の福島県本宮市の仮設住宅住まい。
 (前日10/27(土)13:30~田辺市・紀南文化会館3階でも橋柳子氏の講演があります)

■ 福島原発事故の責任を問う訴訟団に参加しませんか

東京電力・原子力安全委員会・原子力委員会・など33人に対して、6月11日福島県民1324人が福島地方検察庁へ告訴状を提出しました。(前号に載せました)

その後8月1日、福島地検はこの告訴状を受理し、東電経営陣らの刑事責任について、捜査を始めました。
 引き続いて、全国規模の告訴・第2次告訴(11月)に向って各地で、告訴団が発足しています。

* 締め切りは2012年10月15日

福島原発訴訟団・関西も受付を開始しました。

福島原発訴訟団関西事務局

<住所>

〒606-8227

京都市左京区田中里ノ前町21 石川ビル305

NPO法人市民環境研究所気付け

☎FAX 075-711-4832(石田紀郎) ☎ 075-465-2451(佐伯昌和)

告訴希望の方は上記にご連絡下さい。委任状等の必要書類を取り寄せて下さい。

■ 2030年代に原発稼働ゼロ決定

9月14日、政府のエネルギー・環境会議で「革新的エネルギー・環境戦略」として、原発に依存しない社会の1日も早い実現が第1の柱とされ、その実現に向けた3つの原則が提示されました。

- 1)40年運転制限を厳格に適用する。
- 2)原子力規制委員会の安全確認を得たもののみ、再稼働とする。
- 3)原発の新設・増設は行わない。

ただし、核燃料サイクルはそのまま、建設途中の大間原発と島根原発は建設続行を認めました。自民党は懲りずに原発推進と言っているし、経済界などの圧力、原子力村の動きがあります(規制委員の人選や決定機関の問題)。
 地震国日本で原発の安全性が保証されないのは明白です。一刻も早く原発を止めるためにさらなる行動が必要です。

毎週金曜日の官邸前デモは続いていますし、経産省前のテント村は健在です。金曜日デモは各地に派生しています。大阪市の関電本社前での金曜日集会、和歌山市の関電和歌山支店前の集りも金曜日18:00~続いています。
 10月7日は和歌山市でデモが予定されています。

■ 大飯原発3.4号運転差し止め仮処分裁判の経過

関電相手の民事訴訟・仮処分は3月12日に申立書提出。現在も継続しています。9月5日、今日こそ結審だと期待して大阪地裁に行って来ました。小さな部屋のため傍聴出来るのは3人でしたが、その中に松浦も入れて頂いたのです。前回(8月13日)も裁判長は議論がかみ合うようにと関電に要求していましたが、8月31日に出された関電主張書面はいつそう分からなくするような内容でした。そのため9月5日、裁判長は関電側にたいして、箇条書きにした求釈明書を提示しました。裁判長の話には好感が持てるのですが、関電は、引き延ばし作戦;結審させないのが至上命令ということなんやろなと思いました。第6回審尋は10月10日です。(松浦雅代)

2012-09-20 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

